

臨地実習【成人・老年看護学実習Ⅳ】

所属/担当教員	衛生看護学院 看護科 教員		
対象学年/開講時期	第3学年/通年	単位数	2単位
履修の目的 終末期医療の場において、成人・老年期の対象を理解し対象に応じた看護の実際を学ぶ。			
授業の形式	臨地実習		
授業評価の基準等	出席状況および実習状況を評価表に基づいて総合的に評価する。		
教科書・参考図書	これまでの看護全般の講義で使用したテキストおよび資料		

【授業計画・内容】

実習目標

- 1) 成人・老年各期の発達課題と特徴を踏まえ対象が理解できる。
- 2) 成人・老年各期にある対象の生活背景が健康に及ぼす影響を理解できる。
- 3) 終末期医療の場にある対象に応じた援助ができる。
- 4) 対象の個別性に応じた健康問題を解決するための援助ができる。
- 5) 保健医療チームの一員としての役割を理解できる。

実習内容（詳細については実習要綱の「成人看護学実習Ⅳ」を参照）

実習施設：JAあきた厚生連 平鹿総合病院 8はな・8もり病棟

JAあきた厚生連 大曲厚生医療センター 緩和ケア病棟

実習方法：

- 1) JAあきた厚生連 平鹿総合病院 病棟
 - (1) 8日間行う。
 - (2) 患者を1名以上を受け持ち、看護を実践する。
 - (3) ケースカンファレンス、テーマカンファレンスを実施し学びを共有する。
- 2) JAあきた厚生連 大曲厚生医療センター 緩和ケア病棟
 - (1) 2日間行う。
- 3) 実習配置：実習配置表参照